

法人（事業所）理念		私たちは子供達の未来の為に最善を尽くします。		
支援方針		子どもは自らのうちに自分を成長させる力を持っており、大人はその要求を受け止め自由を保障することによって、子どもの自発的な活動を支援する存在でなければなりません。 「発達」の原動力は活動や経験、環境であると考えています。お子様一人ひとりの発達段階を理解し、科学的根拠に基づく知識と重要性を理解した指導員が発達をより良い方向へ導くために一人一人のお子様合った環境を準備し提供致します。		
営業時間		平日：10時～18時 土曜日：9時～17時	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人 支 援	健康・生活	調理実習：レシピ検索から買い物を含めて、計画をたてる。また、さまざまな調理器具を使い、1人で作れるものの幅を広げる。 その他生活操作：生活に必要な操作を療育の中で積極的に取り入れる（結ぶ、束ねる操作、はさみやカッターの使い方、パソコンやタブレット操作など） スケジュール：ご本人にとってわかりやすいスケジュールを、「自分にとってどれがわかりやすいか」を考えながら計画を一緒に立てる。		
	運動・感覚	サーキット：姿勢の保持、ボディイメージ、目と身体の協応 つまみ操作：2指でつまむ、3指でつまむなどを用意（ピック、シール、ペグなど） 筆記具の操作（クレヨン、けしごむ、鉛筆、はさみ、定規等）：写真や絵カード、シールでの目印等を用意し、適切な筆圧、持ち方を獲得する。 目と手の協応：必要なお子さんにはビジョントレーニングの課題を用意。見続ける力を向上させる。		
	認知・行動	太田ステージに基づいて実施。 ・触って分かるものを用意し、取り組めるものを増やす（粘土、型はめ、ままごと、クーゲルバーンなど） ・見て分かるものを用意する。見本をみて同じものを作る、手順書をみて自分で組み立てる（簡単なプリント、折り紙、ブロックなどの組み立てられる教具、パズル、絵合わせ、神経衰弱などのカード課題）。		
	言語 コミュニケーション	・どっちがいい？：すごく好きなものと、そうでないものを用意し、どっちがいい？ときいて指さして伝えることを促す。 ・「てつだって」「ちょうだい」「かして」を促す：課題の中であえて、手伝いが必要だったり、声掛けが必要な場面を作る。 ・プラス1語で伝え返す：指差しで伝えるお子さんには+単語、単語で伝えるお子さんには2語文、2語文で伝えるお子さんには3語文で伝え返すことでことばを伸ばす。 ・決まった声かけ：「せーの」「じゃーん」「だって○だから」など、言葉の課題に応じて、最初は声のかけ方を固定し、声のかけ方を頼りにして課題を進められるようにする。		
	人間関係 社会性	・順番に遊ぶ：コーチやお子様の写真を順番に並べるなど視覚的手がかりを用いる、「○さん、コーチ、○さん、コーチ」と声かけしながら取り組むことに慣れる。 ・SST：「こんなときどうする？」などあらかじめ一緒に考えたのち、グループ活動であえて似た場面を設定し、「さっきのと同じだよ」と伝えて、知識を実践につなげられるようにする。 ・待つ：待つために必要な支援（見通し、待ち方、カウント、環境設定など）をお子様に合わせて用意し、待てる時間を延ばす。 ・勝ち負けの切替：「勝っても負けてもかならずもらえるよ」とトークンを用意し、勝っても負けても渡すようにすることで、勝ち負けではなく最後まで参加することに意味を持たせるようにする。また、予め「負けたらどうする？」と一緒に考えることで、負けた時に対応できるようにする。 ・気持ちの切り替え：そのお子さんに合わせた見通し（ごほうび表、スケジュール提示）を用意する。		

<p>家族支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待合室にて、いつでもモニター越しに療育のご様子を見学することができる。</li> <li>・家族支援加算や子育てサポート加算を積極的に取り入れ、フィードバックやご家庭でのご相談に応じる。</li> <li>・不登校等の事情で親子分離が難しい場合は、分離へのステップとしてお子様のペースに合わせて親子同室での療育支援から始め、ご家族様と相談しながら進める。</li> <li>・こどもの様子をお伝えするマンスリーサポートを毎月発行してご家族様にお渡ししている。</li> </ul>	<p>移行支援</p>	<p>就学や進学に合わせて想定される知識や操作（就学前プログラム）を用意している。学校とも積極的に連携し、関係機関連携加算や必要に応じて保育所等訪問支援に繋げる。</p>
<p>地域支援・地域連携</p>	<p>保護者様のご希望に応じて、適宜地域との連携を行っている。 こどもの様子をお伝えするマンスリーサポートを毎月発行してご家族様にお渡し、必要に応じて学校等に渡せるようにしている。</p>	<p>職員の質の向上</p>	<p>毎日振り返りを行い、それぞれの専門的立場に基づいて助言指導をしている。定期的に研修に参加している。</p>
<p>主な行事等</p>	<p>保護者向け茶話会など</p>		